# ジブチ月例報告
# （２０２６年９月）

**在ジブチ日本国大使館**

**【内政】**

●９月７日、ゲレ大統領は、新年度の開始にあたり、第９回閣議において演説を行い、ホルムズ海峡の危機及び紅海における海上交通への脅威といった不安定な国際・地域情勢においても、責任と決意をもって国家の優先課題に注力しなければならないと述べ、インフラ投資及び財政改革、経済の多角化、安全保障、人的資本及び社会的包摂、若者の雇用及び行政のデジタル化を優先課題として掲げた。

●９月１３日～１５日、ジブチ北部・オボック州の沿岸に２千人を超えるイエメン難民が流入した。１０月２日付オボック州知事発表によると、延べ３，８０７人の流入が確認されている。

**【外政】**

●９月３日、ゲレ大統領は、アフラーハ・ズーバ（Mme. Afrah Abdeaziz Al-Zouba）イエメン外務大臣の表敬訪問を受け、二国間の協力関係の進展状況を確認した。

●９月７日、オマール外務・国際協力大臣は、パリで実施された仏ジブチ政治協議に参加し、仏のジブチへの投資拡大、空港インフラ整備及びフランコフォニー経済ミッションについて協議したほか、２０２４年に署名された新仏ジブチ防衛協力協定（ＴＣＭＤ）の実施状況について意見交換を行った。

●９月９日、ゲレ大統領は、パリで開催された国際宇宙サミットの機会にマクロン仏大統領と首脳会談を行い、防衛・安全保障、教育、研究、職業訓練など幅広い分野における二国間協力の深化を確認するとともに、ＴＣＭＤの実施状況について意見交換を行った。また両首脳は、アフリカの角及び紅海をめぐる地域情勢についても協議を行った。

●９月１０日、ジブチ外務・国際協力省は、サウジアラビアに対する攻撃を非難し、サウジアラビアの安全保障・安定・領土一体性を脅かすあらゆる脅威に対し同王国への完全な連帯と支持を改めて表明した。

●９月１１日、ジブチ外務・国際協力省は、バブ・エル・マンデブ海峡情勢の推移に係るコミュニケを発出し、緊張緩和及びイエメンにおける持続可能な政治的解決への支持を表明した

●９月１６日、ジブチ外務・国際協力省は、国連常駐調整官事務所（ＲＣＯ）、ＷＦＰ、ＵＮＨＣＲ、ＩＯＭと共催の下、当地外交団及び国際機関を招き、「イエメン難民大量流入への対応へのアピール」会合を主催し、国際社会の連帯と支援を求めた。

●９月１６日～１７日、チョロシュ（M. Dacian Ciolos）ルーマニア元首相・元欧州委員は、仏語圏国際機関（ＯＩＦ）事務総長選挙のキャンペーンの一環として、ジブチを訪問した。
●９月２７日、ジブチ外務・国際協力省は、エチオピア情勢に係るコミュニケを発出し、紛争の再発について遺憾の意を表するとともに、緊張緩和及び対話による紛争解決を呼びかけた。
●９月２９日、ジブチ外務・国際協力省はイスラエル・パレスチナ情勢に係るコミュニケを発出し、イスラエル当局及びイスラエル人入植者によるアル・アクサー・モスクへの度重なる侵入を強く非難した。
●９月２９日、ハッサン（M. Hassan Moussa Yacin）氏が、ジブチ中央銀行総裁に任命された。
●９月３０日、ゲレ大統領は、中国建国記念日に際して習近平国家主席に祝電を発出した。
●９月３０日、ゲレ大統領は、ハッサン・ソマリア大統領と首脳会談を行い、経済・貿易、教育・保健、文化・スポーツ、通信及び研究分野における活発な協力関係を確認するとともに、アフリカの角情勢及び紅海情勢を含む地域情勢についても議論した。

**【経済・開発】**
●８月３１日～９月１日、アライタ前駐日ジブチ大使は、アフリカ・ソブリン・カーボン登録基金事務局長としてカナダ・モントリオールで開催された「アフリカ・エクスパンション・フォーラム」に参加した。「援助から真のパートナーシップへの移行」をテーマに掲げた同フォーラムでは、カナダの対アフリカ政策、インフラ、プロジェクトの融資適格性、炭素市場等多岐に亘る討論が行われた。
●９月９日～１０日、ゲレ大統領は、パリで開催された第１回国際宇宙サミットに参加した。ジブチはこれまで２機の超小型人工衛星を開発している。
●９月１３日、イリヤス経済・財政大臣（産業担当）は、ディオン（M. Ousmane Dione）世界銀行副総裁（中東、北アフリカ、アフガニスタン、パキスタン担当）率いる代表団の表敬訪問を受け、ジブチの開発優先事項である経済転換の加速、成長原動力の多様化及び投資に適した環境創出について議論を行った。
●９月１７日、アブドゥルカデル首相は、サウジアラビア開発基金（ＳＦＤ）、アラブ経済社会開発基金（ＡＦＥＳＤ）、クウェート基金（ＫＦＡＥＤ）及びイスラム開発銀行（ＩｓＤＢ）代表者と、新空港建設計画の技術的、経済的及び財務的な計画書策定に向けたロードマップについて協議を行った。
●９月２４日、ゲレ大統領は、ダメルジョグ工業開発フリーゾーン（ＤＤＩＤ）において、ナイジェリアDangote GroupによるＤＤＩＤ～エチオピア・ダウェンレ間

の石油パイプライン及び石油貯蔵ターミナル建設計画の起工式を行った。同起工式には、ゲレ大統領に加え、アビィ・エチオピア首相及びダンゴテ(M. Aliko Dangote) Dangote Group 会長が出席したほか、ジブチ港湾フリーゾーン庁（ＤＰＦＺＡ）、エチオピア投資ホールディングス（ＥＩＨ）及び Dangote Group 間で同計画に係るＭＯＵが署名された。

●９月２４日、イリヤス経済・財政大臣（産業担当）は、アジア資本誘致を目的として香港を訪問し、複数のハイレベル会談を実施した。

**【保健・衛生・社会】**

●９月１４日、ディワン・アル・ザカート（Diwan Al-Zakat）財団は、人民宮殿において、２０２６年度第一回分の孤児基金の支給を行った。同支援はバレー・イスラム問題・ワクフ大臣の後援のもとで行われ、同財団幹部、理事会メンバー、ウラマー（神学など諸学を修学した者）、治安部隊の代表者、民間セクターの支援者及び支援を受ける家族らが式典に参加した。

●９月１６日、アブドゥルカデル首相は、ディアリー・ソウ（Mme. Diary Sow）赤十字国際委員会（ＩＣＲＣ）ジブチ事務所代表が率いる代表団と人道支援活動の計画策定を行った。

●９月２１日、オマール内務大臣は、ＵＮＤＰ、中国国家国際発展協力署（ＣＩＤＣＡ）及びＩＧＡＤとの協力の下、アフリカの角地域で今後予想される豪雨から住民を保護するための早期警報システム構築に関するワークショップを開催した。

**【軍事・治安】**

●９月２２日、ＥＵ理事会は、ジブチ軍への財政支援を１０００万ユーロ増額し、合計２０００万ユーロとするプレスリリースを発出した。

**【日本関係】**

●９月２日～３日、ジブチで第１回国家ＡＩフォーラムが開催され、日本のほか、中国、印、仏、ジブチの企業がそれぞれブースを出展した。

●９月９日、駐ジブチ・スペイン軍指揮移転式典が開催された（大河内大使出席）。

●９月１６日、イリヤス経済・財政大臣（産業担当）は、新空港建設計画の潜在的ドナーを集めた円卓会議を主催し、複数の閣僚、各国大使並びに民間セクターや商工会議所の代表者らが議論を行った（大河内大使出席）。

（了）